

柏崎刈羽原子力発電所における緊急安全対策の概要

津波の影響で3つの機能（交流電源を供給する全ての設備の機能、海水を使用して原子炉施設を冷却する全ての設備の機能及び使用済燃料プールを冷却する全ての設備の機能）が喪失した場合においても、炉心や使用済燃料の損傷を防止できるよう、以下の緊急安全対策を平成23年4月20日までに完了しました。

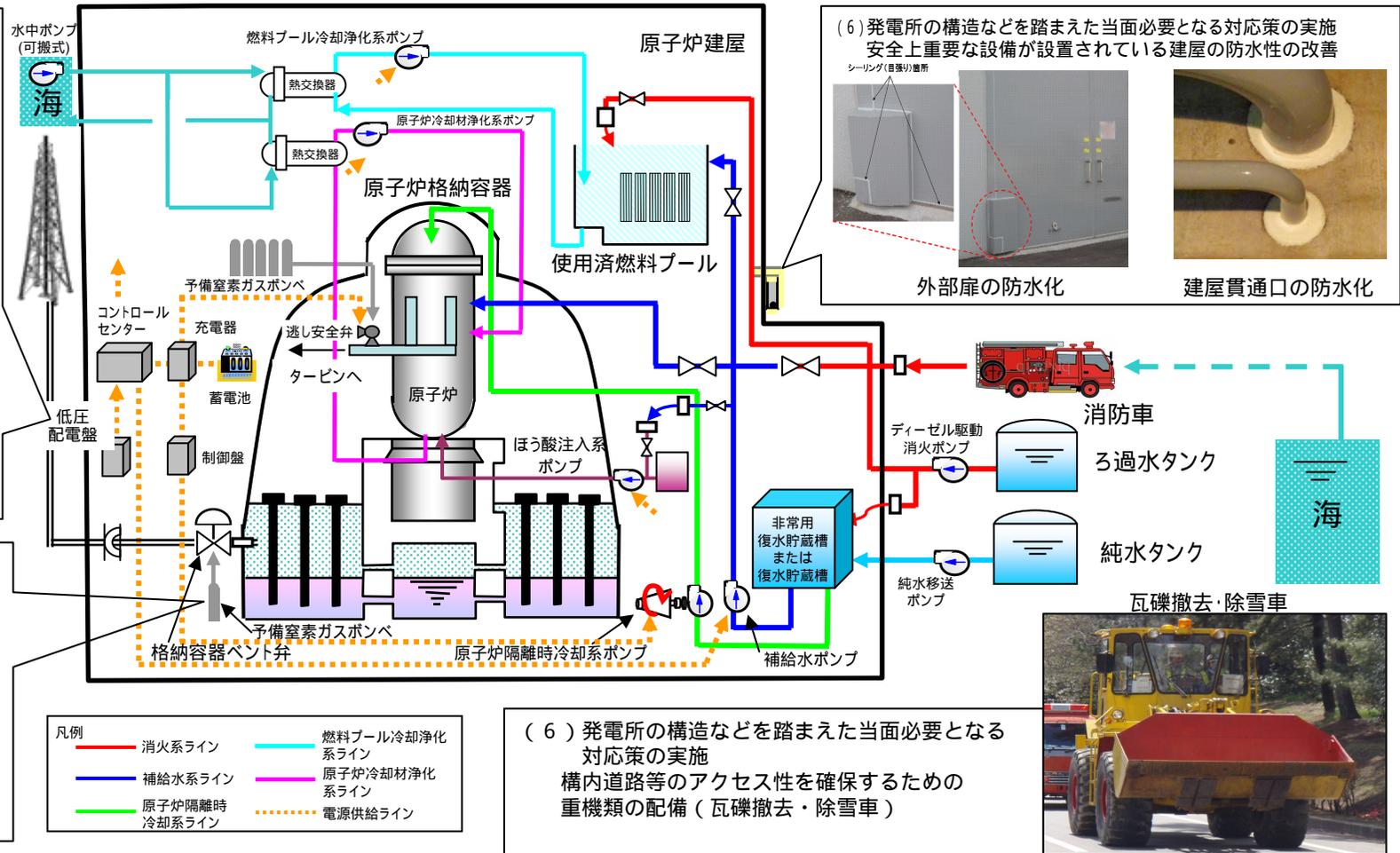
- (1) 緊急点検
安全上重要な設備の定例試験等による確認
緊急時対応のための機器及び設備の点検
- (2) 緊急時対応計画の点検及び訓練の実施
緊急時の対応計画（マニュアル）の整備
緊急時を想定した訓練の実施



- (4) 緊急時の最終的な除熱機能の確保
原子炉の注水・冷却機能強化（消防車の配備等）
淡水水源の確保
可搬式の水中ポンプによる除熱機能の確保
- (5) 緊急時の使用済燃料プールの冷却確保
注水・冷却を継続するための代替注水の手順の策定
必要となる資機材の配備



- (3) 緊急時の電源確保
全交流電源喪失時に電源車等による
電源の供給手順の策定
必要となる電源車や機器類の配備



- (4) 緊急時の最終的な除熱機能の確保
原子炉格納容器の減圧
に使用する空気作動弁
に、窒素を供給する機
能の確保

